

やまぎん アジアニュース

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【青島支店】

中国国内における日本式の新たな動き

1. はじめに

最近、日本を訪れる中国人観光客の代名詞ともなった「爆買い」の傾向が変わってきたとのニュースをよく目にするようになってきました。オムツや粉ミルク、青汁や化粧品、電気炊飯器などの電化製品の大量買いは落ち着き、温泉や景勝地への観光、医療や美容などの日本ならではのきめ細かいサービスを体験する中国人観光客が増えてきたと言われています。

こういった動きは、ブームが過ぎたというよりは、越境ECや淘宝（タオバオ）に代表されるネットショッピングの発達により、中国でも日本の商品が手に入りやすくなったことに関係があるようです。わざわざ日本へ旅行しなくても、少し高い値段で簡単に手に入るようになった結果でしょう。また、商品だけではなく、日本式のラーメン店やスーパー銭湯などに代表される、食べ物やサービスも中国への進出が活発化してきました。

こういった日本の商品や日本式の様々なサービスは中国では「日式」と表記され、日本を訪れる人達だけではなく、中国国内の一般の中国人にも身近な存在になりつつあります。

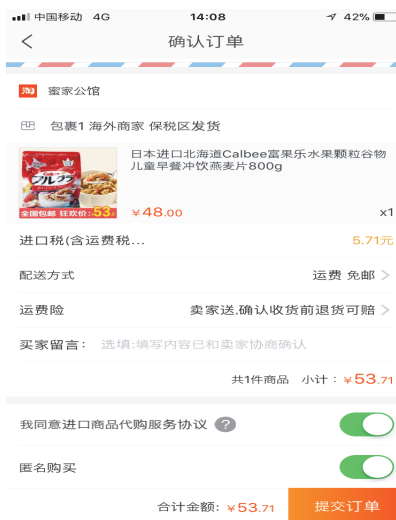
2. 日式の最近の傾向

一般の中国人に質問すると「日式」へのイメージとして「高い」「安全」「品質が良い」といった声がよく聞かれます。これは恐らく日本を代表する企業であるユニクロや無印良品、ニトリといった、既に中国人にとって珍しい存在ではないほどに深く浸透した企業や、日本を代表する電化製品や自動車へのイメージと思われます。最近、中国における「日式」でちょっとした変化が見られるようになりました。

最近中国においてよく見られるようになった商品が、カルビーの「フルグラ」です。これは中国の代表的なネットショッピング企業と提携したことにより、ネットで簡単に買えるようになり、一気に広まりました。また中国の消費者保護をアピールするテレビ番組において登場したことも認知度を上げる契機とはなりましたが、やはり、ネットショッピングという現在の中国における最大のマーケットに登場したことが大きかったと言えるでしょう。



※ご参考) 淘宝での購入ページ



また、これまでとは全く違うジャンルの「日式」として、携帯電話用ゲームアプリの「旅かえる」が流行しています。大変失礼ながら日本では大流行しているとは言い難いこのゲームアプリで、しかも日本語版であるのにも関わらず、多くの中国人が夢中になっています。

報道されているデータでは、利用者の95%が中国人であり、日本人の利用は僅かに2%。何か最先端の技術を使ったわけでもなく、大々的に宣伝されたわけでもないこのアプリ。子供やペットに見立てた旅好きのカエルに庭で集めたクローバーを使ってショップで弁当や旅の支度をしてあげ、カエルは勝手に旅立った旅行先で日本の風景を中心とした写真を送ってくれるだけの簡単な仕組みです。

しかし、「うちの子がこんな場所に行って、こんな綺麗な写真を送ってくれたよ!」と得意げにSNSにアップする中国人が急増し、謎の大流行となりました。どこか日本でかつて流行した「た



まごっち」にも似た感覚です。

今の中国では、日本以上に携帯電話が無ければ生活や仕事が難しいほど、QRコードによる決済やビジネスツールとしてのアプリが深く入り込み、独自の携帯文化が世界にも輸出されるようになって、日本へも次々に進出しているのは報道されている通りですが、「旅かえる」の流行は、逆に日本の携帯アプリが中国に入り込んだ珍しいパターンではないでしょうか。恐らく多くの日本人にとっては「無礼」にも映る行為である、人前や会食時の携帯チェックも、中国人にとっては今や当たり前の行為であり、その携帯チェック時に簡単に世間話が出来て、ある種の癒しを与えてくれるこのアプリが見事に現在の中国人ライフスタイルにヒットしたと言えるでしょう。

3、おわりに

流行というものには必ず終わりがあり、常に変化していきます。良いものは世界共通であり、良いものさえ作れば必ず世界でも売れるといった考えが日本人的な考えかもしれません。しかし、価値観の違いは存在し、例えば日本人にとっては「絶対」の存在である味噌やダシに代表される「旨み」は中国人にとっては塩辛く感じる場合もあります。先に挙げた2つの新たな「日式」は、品質だけではなく、中国人にとって受け入れやすい要素を備えていたからこそヒットしたことを示していると言えます。

世界の工場から世界有数の消費地へと変貌しつつある中国市場の攻略は、相手先の研究をしっかりと行うことが鍵となりそうです。

山口銀行青島支店では、中国ビジネスに関する様々なご相談を承っています。お気軽にご相談下さい。